

■今後の部会活動を進めるうえで共有・調整すべきポイント（各部会の活動の概要）

《現状に関する意見》

①資源等（第1回全体会を踏まえて）

- そば（誘客部会）
- 造り酒屋（誘客部会）
- 鉄道（誘客部会）
- 自然環境（誘客部会）
- 雪（店舗部会）
- イベント等（誘客部会）
- 羽根曾踊り（誘客部会）
- 昭和会館（景観部会）

②来訪者について

- ・高齢夫婦、若い家族、絵を描く人、写真を撮る人、山に登る人が多い（誘客部会）
- ・ハイキングする人や山登り客が増加中。大阪方面からも多い（店舗部会、歴史部会）
- ・カフェができて、いろいろな人の動きが変わった。今庄のまちをもっと見直したい人も多い（店舗部会）
- ・高速 IC、JR の3 駅、アクセスは良い（誘客部会）
- ・お酒 1 本を買うのに大阪や滋賀から来る人も増えており、今庄を良いまちと評価している（店舗部会）
- ・マニアックでディープな世界を求める人が多い（店舗部会）
- ・水戸天狗党、奥の細道、山本周五郎も人気がある（歴史部会）
- ・湯尾峠のイメージが強いが、孫嫡子の札も大切（歴史部会）

③旧旅籠 若狭屋・「coffee&bread 木ノ芽」

- ・空き家だった旧旅籠 若狭屋をお借りし、改修を始めてから約 1,400 人、平成 25 年 3 月にカフェがオープンして約 4 ヶ月で、約 2,500 人が来訪している（ハイキングコースに来られる方はあまり若狭屋のほうに来られないので実際はもっと多い）。
- ・福井市などの県内のほか、近畿・中部からの来訪者も多い。
- ・若狭屋に来られるほとんどの方は「このままで良い、飾らないほうが良い」と答える。

《具体的な取り組みや進め方に関する意見》

①取り組みの方向性について

**生活の視点**  
 私たち住民が快適に暮らせるだけでなく、のどかな自然や歴史に育まれた今庄宿ならではのまちづくりを目指したい。将来の子どもたちを想い、地域で支え合う暮らしや風習、固有の歴史や文化、宿場町ならではの様々な出会いを大切にしながら、暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを進めていきたい。

**観光の視点**  
 今庄宿の魅力は、何となくノスタルジーを感じることであり、観光バスで多くの観光客が訪れるような観光地ではなく、ひっそりと、質の高い誘客を目指したい。変に触りすぎずに、着飾らず、今ある資源の魅力さをさらに高めることで、人のぬくもりが感じられるまちづくりを進めていきたい。

- ・歴史認識が1つのキーワード（景観部会）
- ・現にあるポテンシャルに付加価値を付ける（景観部会）
- ・宿が整備された江戸時代をメインにし、約 700 年の歴史の繋がりが見えるまちづくり（歴史部会）

②定住促進の取り組みについて

- 人がいないとまちが死んでしまう（店舗部会）
  - ・子どもが生まれたらまちをあげてお祝いする（店舗部会）
  - ・親の意識改革、次の世代へ語り継ぐこと（店舗部会）
  - ・まちづくりに対する想いを家庭の中で共有（店舗部会）
  - ・子どもが育ちやすい環境づくり（店舗部会）
- 住むところとして選ばれること（店舗部会）
  - ・今庄の田舎の良さを発信し、知ってもらおう（店舗部会）
  - ・若い人を受け入れる体制が必要（店舗部会）
  - ・田舎ビジネスなど、雇用の創出（店舗部会）
  - ・子どもの滞在を定住のきっかけにする取り組み（店舗部会）
  - ・若い人が住めるエリアなど、新旧のすみ分け（景観部会）

④景観の取り組みについて

- ・守るべきものは守る。昔の街並みの復元ではない。ルールがないと街並みが壊れる（景観部会）
- ・条例化で街並みは守れるが、映画のセットのようになり、若者の流出の要因にもなる。家を建てる・直す時に相談できる人が必要（景観部会）
- ・暗黙に守られてきたルールを考え、みんなが賛同できると良い。想いが伝われば、受け入れられる。協定もある（景観部会）

③誘客・観光の取り組みについて

- ・今あるものの活用（羽根曾踊り、街道浪漫等）、できること（心遣い）をすべき（店舗部会）
  - ・子どもを巻き込み、人を集める・寄せる（店舗部会）
  - ・大規模にせず、負担なくできること、生活と直結したこと、手弁当で良い（誘客部会）
  - ・短期的にたくさんの方が来ることが目的ではなく、長い目で見るのが重要（景観部会）
  - ・来訪者の現状把握、ターゲットの明確化、PR やマーケティング等の戦略（誘客部会）
  - ・良い歴史の提供（歴史部会）。多くの歴史マニアの受け入れ（店舗部会）
  - ・羽根曾踊り等の伝統文化・伝統行事、食文化、街並み等、誇れるものの精査（歴史部会）
- （以下は別枠で記載）
- ・NHK の連続大河ドラマとタイアップするなど、やり方もいろいろある（歴史部会）
  - ・グリーンツーリズム（店舗部会）、藤倉山から愛宕山へのルートの改善（誘客部会）
  - ・今庄宿の中、メインストリートにそば道場のような施設が欲しい（店舗部会、誘客部会）
  - ・立ち飲みや立ち食いができる場所、子どもが喜ぶ駄菓子屋、おせんべいやそば粉のクレープ、そば団子、あげ焼き等、歩いて食べられるものが欲しい（誘客部会）
  - ・滞在型の観光。若い人でゲストハウスをやりたい人の募集。つるやの復活（歴史部会）
  - ・新蕎麦、新酒、味噌など産地ならではの価値を活用（誘客部会）
  - ・空き地でかまくら等、親子で楽しめるイベント。本気の雪合戦等、逆転の発想（誘客部会）
  - ・一団に集まっているお寺を活かす。座禅体験、朱印のようなものも良い（誘客部会）
  - ・高齢者にも適度な散策ルートの提供（景観部会）、おもてなしの勉強会（景観部会、歴史部会）

⑦その他

- ・特に上のメインストリートが歩きにくい（店舗部会）
- ・上のほうは良いが、メインストリートは融雪が良くない（誘客部会）

⑤情報発信について

- ・住民自身が再認識し、外へ発信。来訪者に発見してもらおう（店舗部会）
- ・スローな生活、街並み散策 + α、雪が降るところなど、良いところ・魅力を多様な方法で情報発信（店舗部会）
- ・誘客にはガイドブックへの掲載も必要（誘客部会）
- ・今あるものの歴史や価値を発信。町民に歴史や文化を伝える（店舗部会）

⑥空き家・空き地の活用について

- ①アミー、②FF、③山田氏の空き家、④朝倉氏の空き家、⑤斎藤家、⑥西之町の空き家 2~3 件、⑦柳周辺の空き地、⑧酒蔵近くの空き家、⑨農協

そば屋+体験の場（街道にあることが重要）、畑・多目的な広場（空家も宿泊場所として一体的に）、モデル住宅（街道暮らしの情報発信）、アーティストや子育て世帯の住まい等としての活用

- ①空き家・空き地の所有者情報等の整理、②チラシの作成・配布（段階的なPR）、③空き家を使ったフリーマーケットの開催や情報発信等を計画的に実践

このプロジェクトを教育の場として活用  
 小・中学校の歴史の教材としても活用